

陳 情	受 理 番 号	34	受 理 年 月 日	令和3年11月25日	付 託 委 員 会	教育福祉
件 名	5歳から12歳までの年齢の新型コロナワクチン接種差別防止に関する陳情書					

5歳から12歳までの年齢の新型コロナワクチン接種差別防止に関する陳情書  
いつも市民のために尽力頂きありがとうございます。

(理由・背景)

日本政府は新型コロナウイルスに対するワクチン接種の対象年齢を5-12歳に引き下げると発表しました。私は医師として新型コロナウイルスワクチンに関する情報収集を行っており、最近になり新型コロナウイルスワクチンの感染予防効果はそれほど高くないという論文がイギリスとアメリカそれぞれで発表されました。

イギリスでの調査論文はランセットという有名な医学雑誌に10月30日に掲載されました(資料1)。この雑誌によれば、ワクチン接種後のコロナ感染患者とワクチン未接種のコロナ感染患者の比較において、感染後20日間の家庭内感染の程度を調査していますが、ワクチン接種後のコロナ感染患者で25%、ワクチン未接種のコロナ感染患者で38%でした。新型コロナワクチンの感染予防効果は当初考えられていた効果より高くないという結果が出ました。

また、これは11月12日に発表された査読前の論文ですが、アメリカでコロナウイルス感染者の鼻腔内のウイルス量を調査したところ、ワクチンを接種した群と未接種群で、PCR陽性期間および培養陽性期間に有意な差はみられませんでした(資料2)。この論文の結論には「ワクチンを接種した人が新型コロナウイルスに感染しても、ワクチンを接種していない人に比べて感染力が劣ることはないと考えべきである。」とはっきり記載されています。この論文はアメリカ疾病対策センター(CDC)がまとめたもので、査読前論文ですが非常に重要な発表です。

ワクチンの効果は感染予防、発症予防、重症化予防であり、厚生労働省も接種後半年で重症化予防効果は保たれるが感染予防効果、発症予防効果は低下すると発表しています。上記2つの論文はワクチンによる感染予防効果が当初の想定よりもはるかに低いものであることが証明されています。であるなら、ワクチン接種の意義は重症化リスクの高い高齢者への重症化予防のみに焦点をおいてなされるべきだと考えます。

(願意・要望)

以上において、5歳から12歳までのこどもの新型コロナワクチン接種に関する以下の請願・要望を行います。

- ・ 新型コロナワクチン接種の有無による進学や行事参加等の差別は絶対にあってはならないことを議会全体で確認し、その事実が確認された団体をホームページ等で公表する罰則等を設けること。

※ 陳情内容について所管の厚生経済委員会への説明を行いたいと考えております。参考人招致についてご検討下さい。

以上を請願・要望させていただきます。なおこの陳情書は私個人の意見によるものですので、私の所属する組織の意見ではありません。所属組織に対するご配慮も併せてお願い申し上げます。今後もより良い市政を市民と共に運営していけるよう、どうぞよろしく願いいたします。